



東広会ニュース

12月号

2004年(平成16年)

Vol.6

発行所 東京都渋谷区恵比寿南
1-5-5JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7855

E-MAIL info@tokokai.jp

交通広告媒体設備・J企の所有管理に 東京メディア・サービスから移管

JR東日本グループの中で広告事業に関係している(株)ジェイアール東日本企画と(株)東京メディア・サービスの役割分担等の検討が進められてきたが、この12月1日より広告事業再編がスタートした。今後、より一層効果的な交通広告の価値向上が図られることが期待される。

今回の再編は、J企と東京メディア・サービスの両社がそれぞれの役割を見直し、JR交通広告の更なる発展と価値向上を図るために行われた。

広告事業再編の狙いは2つ。ひとつは、柔軟な料金設定により価格競争力を強化、更に柔軟な媒体設置を可能とすることで「媒体の競争力強化」を図ること。もうひとつは「広告事業に関する営業と作業の役割分担

の明確化」である。これはJ企が広告に関する営業活動全般に関する責任を担い、東京メディア・サービスは作業管理会社として安全管理の役割を担う、というものである。

具体的には、J企が広告媒体を所有管理し、それらの工事や保守及び意匠交換作業における安全管理等を東京メディア・サービスに委託する。

J企にとつては、広告媒体を所有

平成17年度商品計画の概要を発表する広告会社説明会が12月9日(木)お茶の水・池坊会館で開催された。発表された



平成17年度商品計画を発表する
栗本交通媒体局長

内容は、完全オープン化の推進、駅ポスター商品体系大幅見直し、サインボード市場の透明化を図るもの。車両メディア、駅ポスター・SPメディア、サインボードの各メディアで新機軸の商品計画が打ち出されている。(関連2・3ページ)。

また、17年度秋に開業が予定されている「つくばエクスプレス」の取扱についても概要が発表された。

車両メディアの広告料金に関して、「平成17年4月〜」「つくばエクスプレス開業(平成17年秋)以降」の2本建てになっているので留意されたい。

管理することによりきめ細かな運用が可能となり、新規媒体の設置・移設はもちろん、新たな媒体開発もよりスムーズになるなど、広告主のニーズに迅速に対応できる環境が整ったことになる。

J企では今後、こうした再編の効果をより具体的に示したいと、市場の動向を踏まえながら、広告主を意識した施策に活かしていくこととしている。

J企交通媒体局では組織改編により、設備・安全対策部がスタートした。また、これまでJ企で受付していた意匠交換作業に係わる駅構内立入届けは東京メディア・サービスで行われている。

一方、駅メディアに関しては、広告主ニーズに沿って、駅ポスターセットの商品体系と料金体系の整備が図られ、SPメディアは、需要に即した商品見直しが見られる。

サインボードに関しては、J企と東京メディアとの広告事業再編による効果を具現化する施策が打ち出されている。

その他、車両メディアの長期事前申込制度の是正や、駅メディア単独のキャンペーン申込みが創設される等、広告主の要望に対応した各種改革が行われる。

「車両メディア」

◎各種商品の広告料金見直し・新商品の設定

車両メディアでは、「エリア開発による線区需要の変化」「販売実績・需要動向」「広告主動向」等を鑑みて各種商品の広告料金の見直し及び新商品の設定が行われている。尚、平成17年度からは「E電」「中電」の表記・呼称は輸送区間の変化及び旧呼称のため廃止される。旧E電は「京浜東北線群、山手線群、中央線群」に、旧中電は「東海道線、宇都宮・高崎線、常磐線」との表記・呼称になる。

「中づり」

・「京浜東北線群、山手線群、中央線群」では、①「ADトレイン」の増設及び需要動向等を勘案し、料金が見直される。

②また、「つくばエクスプレス」開業により料金を見直す。

・「東海道線、宇都宮・高崎線、常磐線」では中づり料金の見直し及び、湘南新宿ラインを鑑みセット料金が設定される。

・各線中づり料金見直しにあわせて「中づり首都圏全線セット」の料金が見直される。

・「東海道線、宇都宮・高崎線、常磐線」中づり(短期)料金の見直しに伴い、

中づり(長期)の料金が見直される。

「まど上」

・「京浜東北線群、山手線群、中央線群」では、「ADトレイン」の増設及び線区需要の変化、販売実績、広告主動向等を勘案し、料金が見直される。

・長期需要の増加に対応し、2週間枠が商品化(3線群セットのみ)される。

・東海道線に新型車(211/231系)導入等により「まど上(長期)」の料金が見直される。

「ドア横新B」

・新型車両投入に伴う媒体設置車両数増や需要等を鑑み、料金見直し及びS期間が設定される。

・「東海道線、宇都宮・高崎線、常磐線」において、グリーン車の額面及び211系・415系・113系通路部分の額面については、ドア横新Bへのセット販売を中止し、各々の額面は長期媒体として販売される。

「ドアガラスステッカー」

・横須賀・総武快速線へ掲出路線を拡大し料金が見直される。

「ツインステッカー」

・東海道線、宇都宮・高崎線、常磐線へ掲出路線を拡大し首都圏全線として料金が見直される。

「戸袋ステッカー」

・各種動向等を鑑み料金が見直される。

「車体広告」

・各種動向等を鑑み全線区の料金が見直される。

「トレインチャンネル」

・4月の新型車両全編成導入に伴い料金が改訂される。(下期以降、システム改修による商品体系については別途発表される。)



試運転中の「つくばエクスプレス」

その他既存商品リニューアル等

・「ADトレイン」等は首都圏各線区上限3本まで設定本数が増やされる(運行計画等で設定できない場合もある)。

・首都圏において、10線区(山手、京浜東北、中央快速、総武緩行、埼京、横浜、京葉、東海道、宇都宮、常磐)各線1編成をセットにした「首都圏中づり貸切セット」が商品化される。

つくばエクスプレス

・平成17年度秋開業予定だが、開業後、「まど上」は1ヶ月商品として販売。常磐線新型車両投入(スピードアップ)による首都圏北東エリアの地域活性化・開発に鑑み、「中づり」「ドア横新B」「各種ステッカー」は山手線群常磐線とセットで販売される。

「長期事前申込みについて」

・インセンティブの適用範囲が現在の2区分から3区分へ変更される。その他、「変更受付期間」の廃止、キャンセルによるペナルティ発生対象期間が変更される。

※詳しい内容は交通媒体システムのメディアガイダンスか車両メディア部・スペース調整部へお問い合わせ下さい。

「駅ポスター・SPメディア」 ◎セット商品などの内容を見直し

駅メディアでは、駅ポスターセット商品の見直し、広告料金の見直し、SPメディアの商品の見直し等に加えて「つくばエクスプレス」の駅ポスター、SPメディアの販売予定も発表された。

駅ポスターセット商品の見直し

・集中貼り稼働率が高い「渋谷駅」「原宿駅」に駅ポスターを集中的に掲出できる駅ポスターで初めての「駅ジャケット型」のセット商品「ハーフジャケット」が新たに開発され年間を通じて販売される。

・駅ポスターセット商品を整理し、ニーズにあわせて「駅ジャケット型」「主要

ターミナル駅のセレクト型」「山手線網羅型」「リーチ獲得の広域型」の4つのカテゴリーに分類。商品名は各々のカテゴリーに沿ったネーミングとなる。

・駅ジャケット型等「インパクト重視」商品と広域型等「コスト効率重視」の商品では料金格差がつけられており、需要に応じた広告料金となっている。

広告料金の見直し

・駅ポスター大量購入の割引率が引き上げられる。

・特殊加工ポスターの広告料金が低廉化される。

・駅ポスターランク等一部見直し。

「つくばエクスプレス」路線図



平成17年秋開業予定
秋葉原駅～つくば駅(全20駅)58.3km

SPメディアの商品見直し

・「新宿マイシティボード」に期間料金を設定。

・「集中貼り」の特別作業費が広告料金に内包される。また、渋谷駅、新宿駅のホームボードとのセット化を廃止。

・「自動改札ステッカー」の大宮、八王子、千葉エリアについて駅数を縮小したミニセットを設定。

駅ポ・SP同時展開への対応

「駅ジャケット型」セット商品の開発に

「サインボード」

◎期間短縮など販売制度の見直し

サインボードでは、契約期間の見直し、申込みから料金発生までの期間短縮等の販売制度の見直しとセットボード等既存商品の見直し、計画開発についての計画が発表された。

契約期間の見直し

・現状の広告主动向等を勘案し契約期間が見直される。計画開発については初回契約の契約期間は1年となり、新規媒体の販売促進が図られる。

申込みから料金発生の期間見直し

・申込みから意匠掲出(料金発生)までの猶予期間を現行2ヶ月から40日

あわせて、対象2駅(渋谷・新宿)の集中貼り掲出開始日を月曜日に統一。また、駅メディア単独のキャンペーン申込みを新たに設定。

つくばエクスプレス

・平成17年度秋開業予定。開業後、「駅ポスター」「SPメディア」を開業時より販売。

※詳しい内容は交通媒体システムのメディアガイダンスか駅ポスター・SP部へお問い合わせ下さい。

間に短縮。

既存商品の見直し

・「セットボード」について設置場所を改善し媒体価値を高め、需要に応じた料金期間が見直される。「渋谷エンタテインメントボード」についてはエンタテインメント関連に限定されている広告内容制限を廃止。

つくばエクスプレス

・平成17年度秋開業予定。20駅300面程度を予定。

※詳しい内容は交通媒体システムのメディアガイダンスかサインボード部へお問い合わせ下さい。



携帯型ゲーム機の本物そっくりの巨大広告 (JR東京駅丸の内北口)

東京駅丸の内北口に「巨大ゲーム機登場」

JR東京駅丸の内北口ドーム空間に巨大な広告が11月28日(日)から12月3日(金)までお目見えした。

クライアントはソニー・コンピュータエンタテインメント。同社が12月12日(日)に発売した携帯型ゲーム機「プレイステーション・ポータブル」の形をそのままに幅8畳・高さ3.5畳まで巨大化した模型が、丸の内北口にある駅のドーム内に吊り下げられ、ショッピングや職場へ向かう人の目を集めていた。

液晶部分は大型モニターで、新作ゲームソフトやテレビコマercialの映像を放映した。

東広会 第3回理事会を開催

東日本鉄道東京広告会は、第3回の理事会を平成16年12月8日(水)14時00分からJR企画の会議室で開催した。

主な議題

- 1 「日本鉄道広告振興協会」(仮称)の取り組みについて(法人化)
- 2 新年賀詞交歓会の開催について
- 報告事項
 - ① 広告意匠研修の実施について
 - ② 第1回ゴルフ大会実施について
 - ③ 入会・退会等について
 - ④ 理事会議事録
 - ⑤ 各委員会議事録
- 「総務委員会」「車両メディア委員会」「駅ポスター・SP委員会」「サイン

第1回ゴルフ大会開催

— 60名が参加 —

東広会主催の第1回ゴルフ大会が11月29日(月)千葉の浜野ゴルフクラブで開催された。

当初は10月20日(水)開催予定であったが台風23号の影響で延期となっていた。

当日は天候に恵まれ、参加者60名は、平素鍛えた腕前を披露した。

優勝

栗原 圭一氏 (株ムサシノ広告社)

東広会 第3回理事会を開催

ポード・安全委員会」が審議報告され承認された。

新年賀詞交歓会については、東広会として初めての開催ということもあり、内容・進行方について活発な意見交換が行われた。全体的にシンプルなものとして本来の目的である会員相互間の交流を活発にすることや総務委員会各社から開催当日にメンバーを出して円滑な進行を図ること等が取り決められた。

また、各メディア委員会は分科会を設置し、JR交通媒体販売促進に向けて一層活発な討議を進めていることが報告された。

- 2 位 小田切 裕氏 (株京王エージェンシー)
- 3 位 武井 四郎氏 (株東広)

代表者の変更・住所変更

代表者変更

(株交通新聞社(12月1日付)

代表取締役社長 北川博昭氏

所在地変更

交通宣伝(株)(11月24日付)

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町555

第二浦野ビル

電話 03・5272・2711

FAX 03・5272・2712

代表者変更・所在地変更

(株アド・ポード(12月1日付)

代表取締役 佐藤虎男

〒140-0014

東京都品川区大井1-10-3

電話 03・3778・2931

FAX 03・3778・2935

お知らせ

東京広告会事務局年末年始のスケジュールは左記のようになります。

年末 12月28日(火)まで

年始 1月4日(火)から